

不易流行

～和賀組社長からのメッセージ～

VOL.18 (2017.9.27)

平成29年度スローガン
おかげさまで140周年！新たな飛躍への一步！
みんなで目指す顧客感動経営
Improve Customer Loyalty
～和賀組さんで良かったと言われよう～

株式会社和賀組 代表取締役 和賀幸雄



9月6日秋田県庁正庁において、第38回秋田県優良工事表彰式が行われ、当社が昨年施工した東成瀬村手倉の「地方道路等整備工事(建設)I480-10」が表彰されました。現場代理人は土木部平良隆志部長代理で、個人としては平成20年度東成瀬村谷地地すべり対策工事以来2度目、会社としては平成24年度の県単河川改良工事(三梨町)以来8度目の受賞となりました。また湯沢高校体育館新築工事で建築JVでの受賞を含めると9度目ということになります。表彰式の挨拶の中で佐竹知事は、「7月の豪雨災害で、秋田県は大きな被害を被った。危険な状況下で応急作業に当たり、また本格的な復旧作業に当たって頂いているのは、皆さんの建設業界に他ならない。心から感謝申し上げます。建設業は社会資本の担い手であり、地域の経済と雇用を支える産業であり、更なる技術力向上と良質な社会資本の整備に努めてほしい」と述べられました。

2001年からおよそ5年間続いた「小泉・竹中構造改革」では、「聖域なき構造改革」を声高らかに宣言し郵政改革に代表されるような社会構造改革を断行しました。私共建設業界では公共事業の大幅な削減とコスト縮減という政策が取られ、とりわけ当社の様な中小・零細ゼネコンの中には経営難や事業停止に陥った会社が相次ぎました。恥ずかしながら私自身、公共土木に未来は無いのではないかと思ったほどです。世間からも「犯罪の温床・社会の底辺」のような偏見で見られていたのも事実です。しかしながら2011年3月11日の東日本大震災発災を機に建設業界に対する見方が一転しました。ガレキの撤去・復旧・復興工事は建設業界無しには成し遂げられず、ある意味で「地域の消防団」的な役割があるのだということが広く国民の皆さんに理解を頂いたのだと思います。

時代は遷り一時期の様な経営環境の厳しさは無くなりましたが、あの苦しかった時代を忘れることなく、「奢らず、油断せず、しかし萎縮せず時には大胆に挑戦する」、そんな事業運営をしていきたいと思っております。

32 第38回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要			
工事名	地方道路等整備工事(建設) I480-10	施工地名	東成瀬村手倉
路河川名/地区名	国道342号	許可番号	05-001900
商号又は名称	株式会社和賀組	工種・格付	一般土木 A級
請負額	43,584,480円	代表取締役	和賀幸雄
代表者	現場代理人 平良隆志	発注事務所	雄勝地域振興局(建設部)
監理技術者等		主任監督員	今野 速太
発注事務所		監督員	三浦 俊明
主任監督員		工期	平成28年3月28日～平成28年10月24日
		完成年月日	平成28年9月1日
概要	1) 施工延長 L=312.25m、幅員W=5.5(8.0)m 2) 軽量盛土工 N=1式 3) 排水構造物工 N=1式 4) 路体盛土工 V=1,100㎡		
特徴	1) 線形改良及び勾配改善を目的とした国道342号道路改良工事 2) EPSを用いた既設道路の拡幅盛土		
◆発注公所の推薦理由			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 出来形、品質がともに良好であり、現場条件の変化への対応も迅速であった ・ 既設道路を谷側の水田部へ拡幅する工事であったが、水路等について地域住民とよく調整を行い、適切な施工に努めた ・ 工事内容について、説明看板を設置し、地域住民にわかりやすく周知した ・ 工事現場周辺の清掃等を行い、地域の美化に努めた 			

健康経営宣言

健康経営宣言認定書

株式会社 和賀組

健康経営宣言認定書

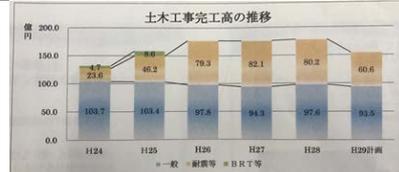
8月4日に認定書を頂きました。二次検診未受診の方は早急に受診するようにしてください。社内禁煙や禁煙手当の支給も検討しています。

能代おなごりフェスティバル



9月9日・10日に開催された能代おなごりフェスティバルに当社保有の絵灯ろう3基を貸し出しました。大勢の観光客が写真を撮っていたとのことで、大変喜ばれました。倉庫には大きな青森ねぶたが運ばれていました。

ユニオン建設社長会



9月22日盛岡市で開催され、ユニオン建設からは福田社長、梶井・荒井・河合本部長他幹部の方々が出席されました。社長からは、安全の確保・人材確保が課題との話がありました。

